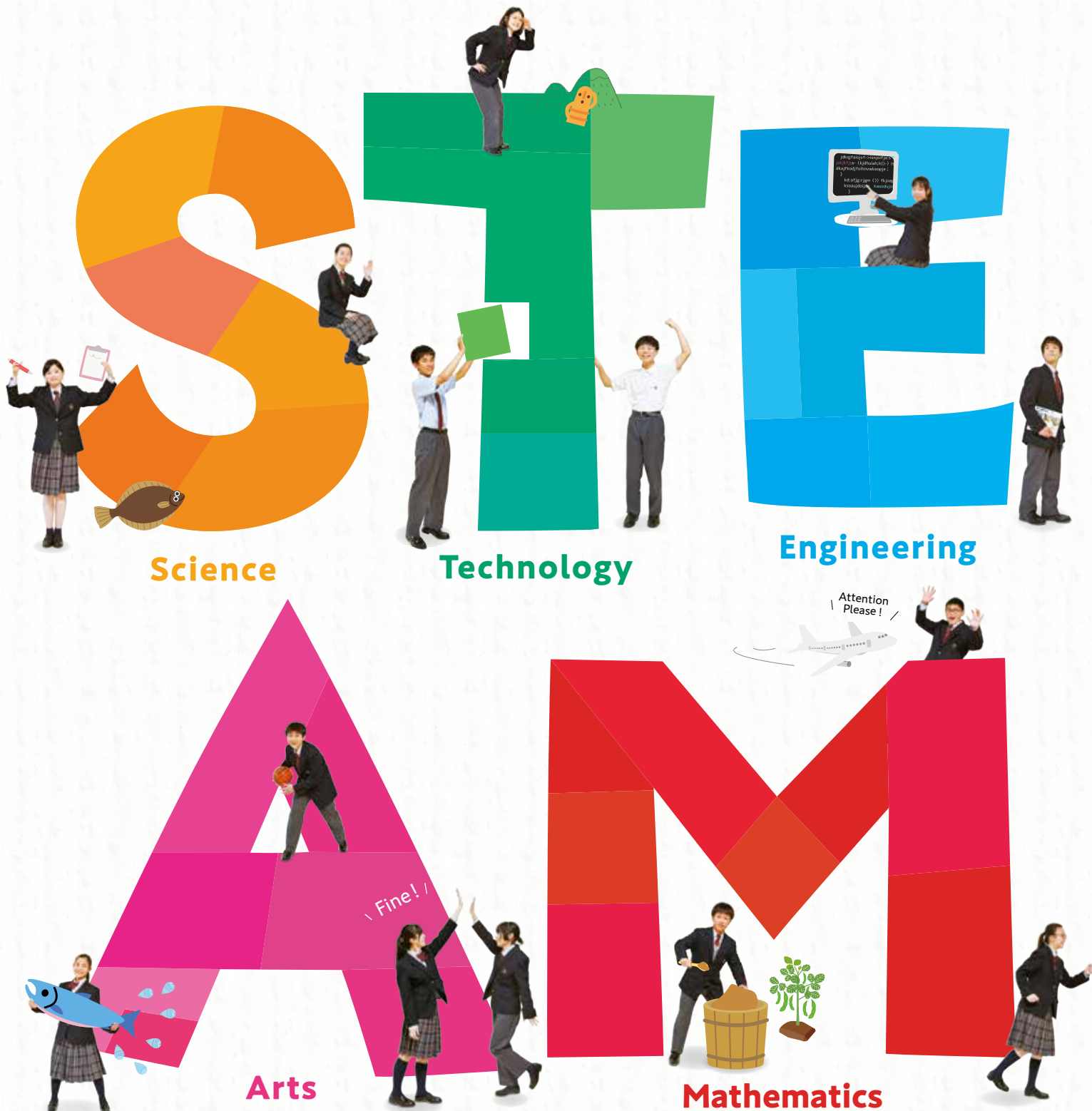


| 男女共学・中高一貫教育校・大学併設校 |

東京農業大学第三高等学校 附属中学校

School Guide 2025

農大三中でしか体験できない、ワクワクの **STEAM** 教育。



Science

Technology

Engineering

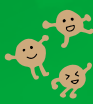
Arts

Mathematics



ダイズ栽培

1年間の栽培を通して、食べ物
が食卓に届くまでの苦労を知る
のと同時に、専門家指導
のもと細かく検証・観察する
ことで、仮説検証の重要
性やよりよい農業について
学びます。



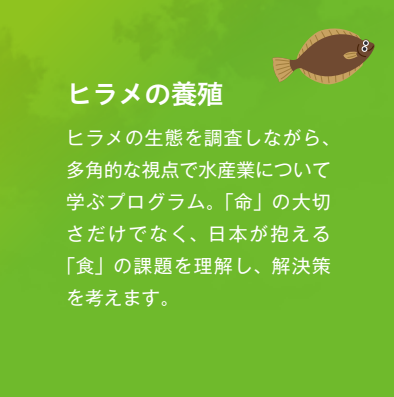
Let's Study!
文理融合を目指す

STEAM

Science Technology Engineering Arts Mathematics

**農大三中・三高の究理探新*が更なる進化!
予測不可能な未来を生き抜く力を育みます。**

農大三中・三高では、「STEAM教育」をベースに究理探新の
「実学教育」「国際教育」「キャリア教育」「人間教育」を更に
進化させました。文理融合の教科・体験学習を通じて、自分
だけでなく、他者を幸せにするための学びの姿勢を構築し、
予測困難な未来社会を生き抜く「人間力」を育みます。



ヒラメの養殖



ヒラメの生態を調査しながら、
多角的な視点で水産業について
学ぶプログラム。「命」の大切
さだけでなく、日本が抱える
「食」の課題を理解し、解決策
を考えます。



修学旅行

世界自然遺産である知床、釧路
湿原の散策や水産加工体験、
北海道開拓の歴史や先住民族
アイヌの文化などに触れる「体
験型」修学旅行は、実学教育の
集大成です。



*究理探新は、農大三中・三高の教育コンセプトを伝えるキーメッセージです。
「究理探新」…道理・本質を究めて新しいものを探る



**実学をもって人を育み、実りを世界に還す。
それが農大精神を受け継ぐ、農大三中・三高の使命。**

教育理念

不屈 探究 信頼

Indomitability

Inquiry

Reliability

教育方針

地域社会に貢献し、国際社会で活躍する
「21世紀を担う国際人」の育成を目指す

不屈の精神で幕末から維新を駆け抜けた「榎本武揚」が設立し、明治農学の第一人者「横井時敬」が建学の理念を確立した東京農業大学。農大スピリットといわれるその教育精神は、実学教育の名のもと、農大三中・三高の理念として深く息づいています。

浪漫祭（文化祭）

生徒会を中心に生徒全員が一致団結し、アイデアを出し合って開催する浪漫祭。企画から運営まですべて生徒主導でおこなうことで多くの学びが得られ、大きく成長できます。



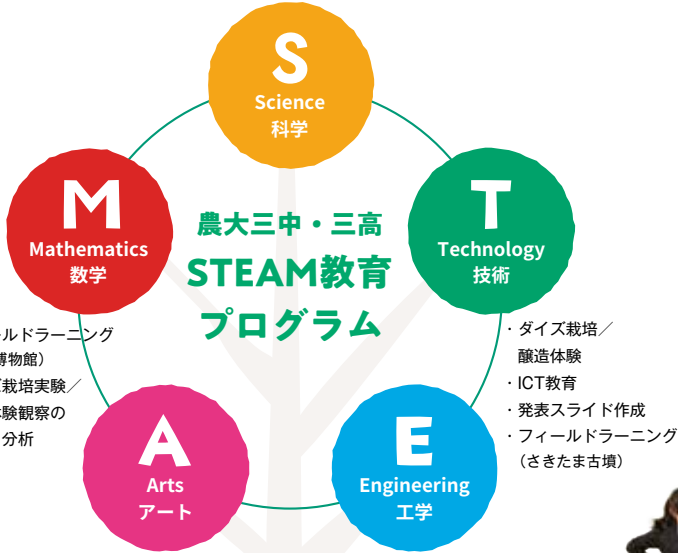
多文化交流

世界と日本の2つの視点に立った国際教育を通して、国際社会で求められる英語を用いた高度なコミュニケーション能力と、世界基準のグローバルな視野を養います。

Enjoy the FIFA World Cup!



- ・博物館研修 ・ダイズ栽培実験
- ・修学旅行（観察／水産実習） ・ヒラメ養殖観察



- ・フィールドラーニング（数学博物館）
- ・ダイズ栽培実験／養殖体験観察のデータ分析

- ・醸造体験／養殖体験の発表
- ・ヒラメの実食
- ・イングリッシュワークショップ
- ・学問研究／模擬ゼミ体験
- ・ホームステイ（語学研修）
- ・グローバルイングリッシュキャンプ
- ・芸術鑑賞
- ・言語技術教育
- ・合唱コンクール

- ・ダイズ栽培／醸造体験
- ・ICT教育
- ・発表スライド作成
- ・フィールドラーニング（さきたま古墳）
- ・プログラミング講座
- ・技術系企業講演会
- ・フィールドラーニング（筑波宇宙センター）



キャリアプログラム

技術系企業講演会や職業体験などを通じて、生徒が自分の将来について能動的に考えられるようにサポート。実学を取り入れた多彩なプログラムで、夢を明確にします。



フィールドラーニング

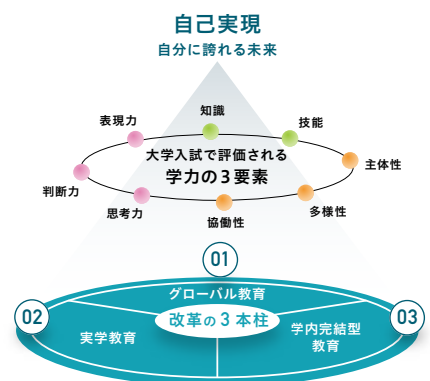
学校を飛び出し、社会や自然の中で学ぶフィールドラーニング。授業で学んだことを暗記で終わらせず、現場に行き、実物を見て、肌で感じることで、「生きた知識」が身につきます。



「STEAM 教育プログラム」と連携する 大学入試の先を見据えた農大三中・三高教育改革の3本柱。

絶え間なく変化するこれからの社会を生き抜くうえで必要な、既存の価値観にとられない柔軟な対応力は、知識を詰め込むだけでは到底身につけることはできません。農大三中・三高ではその基盤となる、大学入試改革で問われる「学力の3要素」の育成に向け、「①グローバル教育」「②実学教育」「③学内完結型教育」の3本柱で教育改革を実施。

「STEAM 教育プログラム」と連携させながら「次世代型学力」を軸とした新たな教育を行っています。



大学進学その先へ。 未来を拓き、時代を生き抜く力を育む6年間。

ビジネス市場、技術革新、地球環境。あらゆるものが驚くべきスピードで変化していく現代社会の中で、今後頼りになるのが「世界のどこでも生き抜ける能力」です。農大三中・三高の6年間はまさにそのための育成期間。実学を土台とする多彩な教育プログラムを通じて、自ら考え、行動し、未来を拓く逞しい人材を育てます。

触れて、見て、体験する 実学フィールド

[年間行事紹介]

		基礎力充実期		応用発展期
		中 1	中 2	中 3
目 標		実学的考え方のベースを創る		能動的にキャリアを選択する
目 的		<ul style="list-style-type: none"> ● 自己を見つめる ● 社会と自己の関係について考える ● 仕事を知り、生きることの意義を考える 		<ul style="list-style-type: none"> ● 大学を知る ● 適切な進路選択をする
概 要		文章を書いたり、自分が住む地域を調べたりしながら、自分自身や自分と社会の関係について考えます。また、職業調べ、職業体験などを通して、仕事や生き方について考えます。		自己理解や職業知識をベースに大学
クラス編成		習熟度別授業(数学)		
学 力	実学教育	<ul style="list-style-type: none"> ・醸造体験 ・博物館研修(国立科学博物館・国立西洋美術館見学) ・フィールドラーニング 	<ul style="list-style-type: none"> ・畜産体験 ・養殖体験 ・博物館研修(江戸東京博物館見学) ・フィールドラーニング 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験型修学旅行(北海道/自然観察・農業・水産業体験) ・フィールドラーニング
	国際教育	<ul style="list-style-type: none"> ・イングリッシュワークショップ(留学生との交流会) ・英語検定 ・百人一首大会 ・華道体験 ・オンライン英会話 	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバルイングリッシュキャンプ ・英語検定 ・オンライン英会話 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語検定 ・ニュージーランド 語学研修 ・オンライン英会話 ・デザインプレゼンテーション
進路選択力	キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> ・自己理解 ・技術系企業講演会 ・プログラミング講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・職業体験 ・進路講演 ・技術系企業講演会 ・プログラミング講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・学部、学科研究 ・進路講演 ・模擬ゼミ体験 ・技術系企業講演会 ・プログラミング講座
人間力	人間教育	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・教養講座 ・芸術鑑賞・浪漫祭・体育祭 ・スリーデーマーチ ・校内マラソン大会 ・合唱コンクール 	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術鑑賞 ・浪漫祭 ・体育祭 ・スリーデーマーチ ・校内マラソン大会 ・合唱コンクール 	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術鑑賞 ・浪漫祭 ・体育祭 ・スリーデーマーチ ・校内マラソン大会 ・合唱コンクール

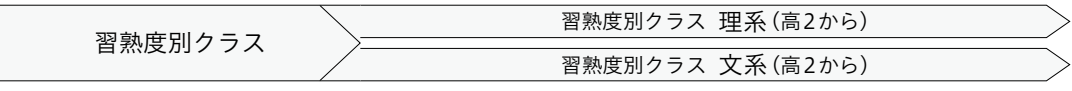




ホームページにて学校紹介とホームステイの様子を公開中!

進路実現期

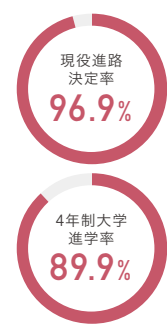
高 1	高 2	高 3
		大学進学を実現する
		<ul style="list-style-type: none"> ● 社会貢献意識を高める ● 将来へのモチベーションを高める
<p>について調べ、これからの進路を実現させる方法を具体的にイメージします。</p>		<p>大学入試に向けて環境を整え、モチベーションを高めます。さらに、興味のある大学のオープンキャンパスなどを通して、大学進学後を意識します。</p>



習熟度別クラス	習熟度別クラス 理系 (高2から)	習熟度別クラス 文系 (高2から)
<ul style="list-style-type: none"> ・フィールドラーニング ・サマーセミナー 	<ul style="list-style-type: none"> ・フィールドラーニング 	<ul style="list-style-type: none"> ・フィールドラーニング
<ul style="list-style-type: none"> ・英語検定 ・クイーンズランド州立校 語学研修 ・河口湖アチーブイングリッシュキャンプ ・アクティブコミュニケーション研修 ・華語講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語スピーチコンテスト ・英語検定 ・修学旅行 (オーストラリア) ・クイーンズランド州立校 語学研修 ・河口湖アチーブイングリッシュキャンプ ・アクティブコミュニケーション研修 ・華語講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語検定 ・華語講座
<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・文理選択 (新書レポート) ・進路講演 ・オープンキャンパス ・プログラミング講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学研究 (探究レポート) ・進路講演 ・オープンキャンパス ・プログラミング講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路研究 ・進路講演 ・オープンキャンパス ・プログラミング講座
<ul style="list-style-type: none"> ・芸術鑑賞 ・浪漫祭 ・体育祭 ・球技大会 ・校内マラソン大会 	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術鑑賞 ・浪漫祭 ・体育祭 ・球技大会 ・校内マラソン大会 	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術鑑賞 ・浪漫祭 ・体育祭 ・校内マラソン大会

進学実績

志望大学への
現役合格



中高一貫教育の集大成!

農大三中・三高の1期から10期の先輩たちが大学入試に臨み、東京大学、早稲田大学、慶應義塾大学をはじめとする多くの最難関国立・私立大学への現役合格を果たしています。
農大三中・三高では、併設大学である東京農業大学・東京情報大学への「学校推薦型選抜」があり、この制度を利用して進学する生徒も少なくありません。農大・情報大を目指す人にはうれしい制度です。

第1~10期生の主な進学先

国立 公立 大学	東京大学	東京学芸大学
	北海道大学	埼玉大学
	群馬大学 (医学部)	宇都宮大学
	筑波大学 (医学部)	茨城大学
	防衛医科大学校	千葉大学
	東京医科歯科大学	横浜国立大学
	お茶の水女子大学	浜松医科大学
	東北大学	東京都立大学
	東京工業大学	富山大学
	東京農工大学	
私立 大学	早稲田大学	中央大学
	慶應義塾大学	法政大学
	上智大学	昭和大学 (医学部)
	東京理科大学	国際基督教大学
	東京農業大学	学習院大学
	明治大学	昭和薬科大学
	青山学院大学	東京薬科大学
	立教大学	



中1・2

基礎力充実期

実学的考え方の ベースを創る

学習への興味を広げながら、基礎学力を定着させ、英数国は中学での学習内容をほぼ終えます。同時に、自己を見つめコミュニケーションの土台を形成し、社会と自己の関係を理解します。

先生と生徒の心の距離が近いから 安心して学習を続けられる

自分に合ったペースで授業が進むので、わからないことがそのままならず、モチベーションを保って学習が続けられました。先生と生徒の心の距離が近く、ペースに悩んだときも気軽に相談できるので安心です。授業以外にもスライドを使用したプレゼンや体験学習なども多く、さまざまな場面で自分の成長を実感できました。

中学2年 相原 迪歩さん

生徒ひとりひとりに合わせた授業で 積極的に学べる環境づくりを

中学1・2年次は、勉強に関心を持つことが重要です。本校では習熟度別授業や、EdOMとの連携で「わからない人をつくらない」授業を重視しています。また実際に体験することから学ぶ姿勢を作るため、行事ごとの振り返りや実学などさまざまなことに挑戦できる場を整えています。これからも生徒ひとりひとりに気をくばり、積極的に学べる環境づくりを行っていきます。

北田 啓 教諭



少人数・習熟度別授業で わからない生徒をつくらない

学んだ内容がどの程度身についているのかを確認する「サポートテスト」を、主要5教科(英数国理社)を中心に定期的実施します。これにより、できなかった部分について集中的な学び直しを行い、「本物の学力」の定着を図ります。また、苦手意識を持ちやすく、理解度にバラつきが発生しやすい数学は、中学1年次から理解度に応じてクラスを分割する、少人数・習熟度別授業を実施しています。「わかる」ことを重視した授業展開で、わからない人をつくらない。これが農大三中・三高の授業です。

教員、保護者と連携して自宅学習までをトータルサポート (自立学習支援システムEdOM)

本校には、学校の教育プログラムの一環として、自立学習支援システム (EdOM) が導入されています。EdOMは、Education (教育)・Opportunity (機会)・Motivation (動機)の3つの頭文字をとって名付けられました。全生徒を対象として放課後に学校内で自習室と講習を実施し、自宅に帰ってからも、Zoomをつないで講習や質問対応を実施します。また、定期的に保護者会や面談を実施し、情報を共有します。生徒の目標の実現に向けて、学校・保護者・EdOMの三位一体で学習をサポートします。



中3～高2

応用発展期

能動的に キャリアを選択する

中学の学習内容の定着を図りながら、ほぼ全教科の高校の学習内容を高校2年までに終わらせます。高校の文理選択後は、自己理解や職業知識をベースに大学を意識した進路実現を考えます。

青春をいっぱい楽しみつ

進路について真剣に考え始める時期

中学3年生になり、将来の夢や進路について真剣に考えるようになりました。大学進学について友人と話し合う機会も多く、早い時期から進路を視野に入れて学ぶことで日々の授業により積極的に取り組めるようになりました。もちろん勉強だけでなく、豊富にある行事やクラスのイベントも楽しんでいます。これからもメリハリを大切に、学習に取り組んでいきたいです。

中学3年 内藤 瑠七海 さん

進路を見据えて学ぶことで

理想の未来を実現してほしい

中学3年次からは、進路実現のために自分で考えて行動することが重要です。本校では実学教育などを通して生徒自身の思考に工夫を促すほか、未来について考える動機づけになるようなはたらきかけを行っています。中高一貫校の強みを生かし、早い時期から大学受験を意識した環境を作ることで、志望校合格を実現します。

佐藤 茜 教諭



ICTによる効率的な授業と 先取り型の濃密カリキュラム

農大三中では、公立中学校3年間分の授業内容を中学2年次までにほぼ完了する、内容の濃い独自のカリキュラムを組んでいます。主要3教科(英数国)に関しては、公立中学校の約1.5倍の授業時間を確保しています。もちろん、単に授業数を増やして詰め込むだけの学習にならないよう、さまざまな工夫をしています。その一例が、電子黒板やタブレット端末によるICT教育です。板書時間を節約し演習時間に充てたり、生徒の解答状況を瞬時に把握したりすることにより、理解度に合った質の高い授業を展開しています。

実学教育に基づく英語教育で 大学入学後も使える英語力を

大学での研究や実社会で「使える英語」として磨きをかけるのが、中高6年間の英語教育です。高校2年次のオーストラリア修学旅行では、数班に分かれ農場に滞在するファームステイを実施します。現地では英語による日常のコミュニケーションを、生徒全員が体験します。帰国後は、英語スピーチコンテストを実施するほか、近年大学入試で導入が加速する英語検定等の外部検定でのハイスコアを目指し、ネイティブによる徹底した指導で4技能(聞く・話す・読む・書く)の向上を図ります。

自立した学習により自己の 限界突破を目指すサマーセミナー

サマーセミナーは高校1年生の参加希望者から選抜された生徒が参加し、難関大学レベルの講習や自学自習を通して学力を高めるとともに、自分の学習を見つめ直すきっかけとします。学習意欲を十分に高めて、コースを越えて集まった仲間と切磋琢磨し合い、自己の限界突破を目指します。



大学進学を 実現する

担任教員と進路指導部の情報連携で、中学生のときから生徒一人ひとりをきめ細かくサポート。大学入試問題演習を早期より展開し、知識と思考力に磨きをかけ、目標大学への現役合格を目指します。

6年通うことで生まれた信頼関係 力を合わせて受験に挑む

この学校に通い始めて6年目ということもあり、友人や先生との信頼関係はとても強固です。困っているとすぐに助けてくれる仲間がいて、どんな質問にもわかるまで答えてくれる先生がいる、受験に挑むには理想的な環境だと思います。志望校に悩んだときもたくさんの方が相談に乗ってくれて、将来の夢への道筋がよりはっきりと見えてきました。温かい人ばかりの農三に入って、本当によかったと思っています！

高校3年 横森 結香 さん

全員が志望校に合格できるよう 最後まで全力で生徒と向き合っていく

高校3年次はモチベーションを保つことが大切になります。ちょっとしたつまづきで弱気になることのないよう、HRや面談を通して生徒の意識変化を見落とさないように注意しています。また勉強でわからないことがあれば納得できるまでつきつめることを大切に、「わかった！」の言葉を聞くまで生徒と向き合い続けます。全員が志望校に合格できるよう、最後まで全力でサポートします。

大関 悟史 教諭



多種多様な課外講座(無料)で 希望進路の実現を全力サポート

農大三中・三高では、6年間を通じて無料で受講できる課外講座を豊富に用意しています。高校1・2年次は各教科の基礎的復習と受験に向けた発展的演習を中心に行い、高校3年次は難関国公立・私立大学対策、重要単元復習を中心とした多種多様な講座を開講しています。特に高校3年次は、放課後・夏期・冬期講習に加え、小論文指導や入試直前講習(12月)など、より実践的で効果的な、大学受験を意識した指導を行うなど、生徒全員の希望進路実現に向けた強力なサポート体制を組んでいます。

高大連携によるキャリア教育で ミスマッチのない進路を実現

高校3年間で、高大連携によるキャリア教育を継続して行います。令和6年度より高校生対象に東京農業大学、東京情報大学の先生方による特別講義「STEAM教育講座」が開講しました。進路講演では、併設大学をはじめ、さまざまな大学の学部・学科の説明会を実施します。自分が学びたい学問や、将来就きたい職業のために、進むべき学部・学科を調べ、夏休みのオープンキャンパスにつなげます。模擬授業などの体験を通して、大学受験に向けてのイメージや目標を具体化させ、モチベーションを高めていきます。

大学合格後へのリアルな想いを 入試を勝ち抜く大きな力に

厳しい大学入試を耐え抜き、勝利を手にするためには「この大学のこの学部で学びたい」という強い思いが必要不可欠です。農大三中・三高では、追い込み期となる高校3年の夏を前に、卒業生による「進路報告会」と30を超える大学の講師たちによる「進路ガイダンス」を実施します。勉強と部活動の両立、模試の活用法や勉強法など、合格者が語るリアルな体験から受験に向けた心構えを学びます。さらに、進路ガイダンスで大学合格後のビジョンを明確化することにより、大学受験へのモチベーションを高めます。



信頼できる先生方に囲まれて たくさんの思い出と出会えるかけがえのない6年間

農大三中・三高の先生は、生徒ひとりひとりの性格を見極めて、目標に向かって的確にアドバイスをしてくださるので、本当に感謝しています。進路で悩んでいたときも、先生のほうが熱心に調べてくれて、私に合った大学を決めることができました。受験期には学内塾EdOMIに通い詰めて、対策を行いました。予備校に通うことなく志望校に合格できたのは、この学校と先生方のおかげだと思っています。卒業した今振り返ってみても、いろいろな思い出が溢れてくる学校で、毎日がとにかく楽しく、気づけば6年間皆勤でした。学生生活を充実させたい方には、本当におすすめの学校です。

秋田大学 教育文化学部 地域文化学科 1年
西村 美海 さん (2023年度卒)

中学・高校の6年間、百人一首部に所属し高校3年次には主将に就任。得意札であった、歌人・藤原実方の和歌について研究していくうちに、民俗学に興味を持つ。大学では伝承文学について学び、将来は日本の文化・文学を後世に継承する担い手として、その素晴らしさを伝えていきたいという。

豊富なカリキュラムが生徒の自主性を促し 人間的にも大きく成長できる

この学校の魅力はなんと言っても、ここでしか経験できないことがたくさんあることです。私はもともと主体的に挑戦できるタイプではなかったのですが、豊富なイベントやカリキュラムを通して積極性を身につけることができました。高校2年次には、オーストラリア・クイーンズランド州立校への語学研修に参加。英語力とともに、精神的にも大きく成長できました。先生方も生徒の挑戦をやさしく応援してくれる方ばかりで、担任の先生に言われた「何者になれるかはわからないけど、努力していれば何者かにはなれるよ」という言葉を胸に、これからも努力し続けていきたいと思っています。

津田塾大学 学芸学部 数学科 1年
齋藤 樹 さん (2023年度卒)

中学2年次の教科担当だった数学教諭の影響で、数学を好きになり、いっしょか得意科目に。その先生に憧れを抱き、中学・高校の数学教師になることを目指して、日々励んでいる。



中学時代の夢を叶えた卒業生

職業体験で病院を訪れたことがきっかけで、放射線技師という夢を見つけた横山さん。農大三中・三高から第一志望だった順天堂大学への進学を経て、聖路加国際大学聖路加国際病院で放射線技師として従事しています。みごとに夢を叶えて活躍する彼女に、学校生活について振り返ってもらいました。

ひとりでも多くの人を救うため 勉強し続けるための力を養った学生生活

中学の職業体験で放射線技師という仕事に出会い、陰から医療を支える姿に強く惹かれました。私が勤めている聖路加国際病院は、都内でも指折りの救急車受け入れ台数を誇ります。一人でも多くの人を救いたいという思いで多忙な病院を選びましたが、その分学ぶことも多く、社会人になってからも勉強の毎日です。このような大変な職場でも頑張ることができているのは、農大三中・三高で培った探究心のおかげだと思っています。疑問に思ったことを放置しない、理解するまで教えてもらえる環境で学生時代を過ごしたことで、進歩し続ける医療に対応していく基礎力が養われたと感じます。

聖路加国際大学聖路加国際病院 放射線科
横山 真愛 さん (2018年度卒)

農大三中では生徒会長、三高では運動部で活躍しつつ、勉強との両立を成功させて第一志望の順天堂大学に入学。現在では国際的な医療機能評価であるJCIに認定された聖路加国際病院で放射線技師として従事しながら、国際的に見ても高水準とされる技術を身につけるためのスキルアップにも励んでいる。

STEAM

Science Technology Engineering Arts Mathematics

実学教育



中学3年
前田 温行 さん

高校3年
安江 誠 さん

学びの礎となる「自ら学ぶ力」を育む、 農大三中・三高の アクティブラーニング

実学教育は、学びを深め成長に導く「自ら学ぶ力」を育むための、農大三中・三高ならではのアクティブラーニングです。フィールドラーニング・醸造・養殖といった、五感を使った体験型学習の機会を数多く取り入れています。また、学ぶテーマや授業スタイルに合わせ、電子黒板やタブレット端末などのICT教材を積極的に活用します。学ぶことへの関心・意欲を高め、柔軟な思考力と実践力を育てています。



自然に恵まれた環境で行う実学教育。教科書の枠を超えて、体験したからこそ気づく様々な発見が勉強をより面白くしています。そして学ぶ対象をより深く知ることができます。アクティブラーニングを通して生徒たちはどのように成長したのか。その時の経験を振り返ってもらいました。

.....

ハプニングだらけの養殖体験を自分たちの力で乗り越えた経験

棚澤 由実菜 教諭 (以下、棚澤) 農大三中・三高では、さまざまな実学教育のプログラムを実施しています。印象に残っているものを教えてください。

前田 中学2年次におこなったヒラメの養殖が印象に残っています。もともと魚が好きだったこともあり、入学前から楽しみにしていました。実際に体験すると大変なことも多かったのですが、それを乗り越えてヒラメを育てたときは達成感がありました。

棚澤 どのようなことが大変でしたか？

前田 1クラス2匹ずつ稚魚から育てるのですが、水槽から飛び出たしまったり、機械に吸い込まれてしまったりとハプニング続きで……ヒラメの命を守ることがこんなに難しいとは思いませんでした。他者との信頼関係や、ひとりひとりの責任感がなければ、生き物の命を守ることが難しいと痛感しました。安江さんでも中学生の頃は苦労しましたか？

安江 苦労しました。さまざまな実学を行いました。一番難しいプログラムがヒラメの養殖かもしれません。生物部の私はクラスメイトをひっぱっていく立場になりましたが、魚を育てたことのない人と海水魚を育てるのは想像以上に難しいことでした。自分の教え方やチームワークの大切さを改めて考える機会になったと思います。

ここにしかない実学教育の魅力

棚澤 実学の経験を通して、成長できたと思うことを教えてください。

安江 クラスメイトに育て方を伝えるうちに主体性が身についたほか、持っている知識をいかに使うかという思考力もつきました。チームワークの必要性なども知識としてはありましたが、実際に課題に直面したからこそ、その重要度を理解することができたと思います。また実際に経験することで、生じた課題に対する解決策を考えることが自分に向いていると気づきました。

棚澤 前田さんが成長できたと思うことは？

前田 まず自分の視点が変わったなと思います。ヒラメの養殖では命を育てることの難しさに気付いた

ほか、味噌の醸造体験では生産の苦労を実感することで、日頃当たり前口にしている食物に対して感謝の気持ちが生まれました。その後、学んだ成果を発表するプレゼンテーションを行うことによって、人にわかりやすく伝える力が身についたと思います。

棚澤 最後に、この学校の受験を考えている方へのメッセージをお願いします。

安江 都心から離れた立地ということもあり、最初は苦労するかもしれません。しかし、この学校でしか体験できない農業や生産業に関する実学教育があります。その分野に興味がある人はもちろん、進路に悩んでいる人も、実学のプログラムを通して視野が広がると思います。実学で身につく力は、かけがえのない財産になりますよ。

前田 この学校の実学教育は、単に体験する楽しさだけでなく、考えたことをプレゼンテーションする力など、将来に役立つ力も養うことができます。中学受験も将来について考えるきっかけになると思うので、ぜひじっくり考えてみてください。

棚澤 主体性やプレゼン能力など、さまざまな成長が感じられて嬉しいです。これからも実学の機会を増やしていきたいです。





ダイズ栽培／醸造体験

理科実験の基本姿勢が身につく
ダイズ栽培から始める
味噌づくり体験

屋上菜園での土壌整備に始まる「ダイズ栽培」と、自ら育てたダイズで行う「味噌づくり」は、「探究心」を育む実学教育の代表的な取り組みのひとつです。理科の学習と連動しながらのダイズ栽培では、比較栽培を行い、生育の違いを観察・検証することで、仮説検証のサイクルや、観察の大切さを学習します。また、味噌づくりを行う東京農工大学の研究室では、麹の種類や醸造のしくみについて大学教授から学びます。



養殖体験

ヒラメを自ら育てる養殖体験を通じて
「命」や「食」の意味について
深く考える

中学2年次に実施している「ヒラメの養殖体験」は、ヒラメを育てることを通じて、日本が抱える「食」の課題や「命」の大切さへの理解を深めることを目的としたプログラムです。NPO日本養殖振興会代表理事の指導のもと、5つの約束(①みんなで、②協力する、③考える、④行動する、⑤命を大切に)を生徒たちが交わして、養殖をスタートさせます。ヒラメの生態調査レポートを作成しながら、日々成長する魚の命に関わります。さらに、成長したヒラメを自分たちで食べることで、命の大切さと食の意味について考えます。



論理的思考力／プレゼンテーション

グローバル社会での
活躍に欠かせない
論理的な思考力と表現力を鍛える

農大三中ではアクティブラーニングの一環として、国語の授業で導入される特設カリキュラム「論理の時間」をはじめ、主体的・対話的で深い学びとなる授業の実践に取り組んでいます。自ら課題を持ち、解決方法を考え、議論しながら学習する中で、確かな知識や技能を身につけることができます。机上での学びだけでなく、校外に出向いて実物に触れる「フィールドラーニング」を実施しています。こうした「実学」のもとで、プレゼンテーション能力に収れんする学びを通して、論理的思考力・表現力を高めます。



体験型修学旅行(北海道)

農大三中の実学教育の集大成は
学びと感動に満ちた
体験型修学旅行

中学3年次に実施する北海道修学旅行は、「体験型」である点が大きな特長です。世界自然遺産でもある知床半島を含む道東の大自然のもと、東京農工大学の北海道オホーツクキャンパス(網走市)の見学にはじまり、水産加工体験(新巻き鮭づくり)、北海道開拓の歴史や先住民族であるアイヌの文化に触れるなど、実学教育の集大成にふさわしい最高の学びと感動がここにあります。



STEAM

Science Technology Engineering Arts Mathematics

国際教育

「高い英語力」と「考える力」を
使いこなせる、
骨太な国際人を目指して

多くの日本人が世界で活躍し、自己実現の場が国境を越えて広がる中、国際社会で求められるのは、英語を使いこなす高度なコミュニケーション能力です。農大三中・三高では、自分の国の伝統や文化を理解し、グローバルな視野を育てる多文化交流体験に加え、英語劇やプレゼンテーションといった実践の機会を数多く設けています。英語による表現力を磨き自信を深めます。

G L O B A L



高校3年
竹下 楓華さん

中学2年
牧本 実はるさん



海外語学研修や「グローバルイングリッシュプログラム」など、様々なカリキュラムがある農大三中・三高。英語を用いた高度なコミュニケーション能力を備えた、世界に羽ばたく国際人育成に取り組んでいます。実際に研修に参加した生徒に、現場で感じたことを伺いました。

.....

「とにかく話す」経験が
英語の楽しさを教えてくれた

劉 秋蔚 教諭(以下、劉) 農大三中・三高では、国際教育にも力を入れています。とくに心に残っているものを教えてください。

竹下 私は、中学2年次のイングリッシュワークショップです。グループに分かれて留学生と英語でコミュニケーションをとり、百人一首を教えたり、入っている部活について紹介したりしました。アメリカやオーストラリアから来た留学生の中には大人も多く、最初は少し緊張しましたが、「とにかく単語だけでもいいから話そう!」と試行錯

誤しているうちにだんだんと緊張がほぐれていき、とても楽しかったのを覚えています。牧本さんのときはどうでしたか?

牧本 私は不安だらけでした。「コミュニケーションが全然とれなかったらどうしよう」と思って、事前に挨拶や簡単な定型文を予習しました。でも、いざ始めると取り越し苦労だったと思えるほど、留学生の皆さんが寄り添ってくれたんです。私と同じように相手も一生懸命理解しようとしてくれて、言葉が違っても気持ちは通じるんだということがわかり、とても嬉しかったです! イングリッシュワークショップ以外にも、台湾の中学生とZoomで話す機会もありました。学校の給食を紹介しあうなどして、楽しかったです。

劉 台湾の給食は、量が多くて驚きましたね。

英語に親しむことで広がる未来

劉 国際教育を通して成長したと思うことはありますか?

竹下 短期語学留学やオーストラリアでの修学旅行を通して、少し英語が話せるようになりました。とくにホームステイではなんとかして話さないといけないので、文法は少し不安でも、とにかく言葉にすることが身につきました。今は緊張したり身構えたりすることなく、以前よりずっと気軽に英語を話せるようになりました!

牧本 気持ちがあれば言葉の壁は大きな問題ではないと学びました。最初は英語が苦手でしたが、ワークショップで、ゲーム感覚で英会話をすること

で、「英語を話すことが楽しい!」と思えるようになりました。

劉 2人とも、英語でのコミュニケーションにとっても積極的になりましたよね。将来の目標はありますか?

牧本 英語があればいろいろな国の人とコミュニケーションがとれるようになるので、さまざまな国籍の人と臆さずに話せるようになりたいです! まだ夢は定まっていませんが、英語が話せるだけで視野が広がられると思っています。

竹下 今は大学進学に集中しています。私もともと英語が苦手だったのですが、英会話が少しできることになったことで、英語の勉強にも以前より積極的に取り組んでいます。

牧本 私は、実学教育に魅力を感じて入学したのですが、英語のカリキュラムも充実していることがわかりました。実際に英語を話す機会が多いので、農大三中では、座学の勉強だけでは得られない多くの学びがありますよね!

竹下 私も海外の人と接する機会が多いので、挑戦する力や行動力、主体性が身についたと思います。

劉 楽しく英語を話せるということは、人生を通してさまざまな場面で生かせる強みだと思います。これからも積極的に英語を使い、さまざまな国の人との対話を楽しんでいきましょうね。





日本文化理解／異文化理解 (中1)

日本を知り、世界を知る グローバルな視野を育む 2つの視点

「日本文化理解プログラム」では、華道や百人一首などを組み込み、日本の文化に触れて、日本人としての誇りを培います。一方、日本との違いを肌で学ぶ「異文化理解プログラム」では、国内滞在の留学生との3日間の交流会（「イングリッシュワークショップ」）を校内で実施します。世界と日本の2つの視点に立った国際教育で、国際社会の一員としての自覚とグローバルな視野を育てます。



グローバルイングリッシュキャンプ (中2)

語学研修による多文化交流で 世界基準のコミュニケーションを 実践

中学2年で3日間にわたって行われるグローバルイングリッシュキャンプは、多国籍の人と文化が共生するグローバル社会に必要な「世界基準のコミュニケーション」を体験する宿泊型語学研修です。10カ国を超える多国籍の方々と生活を共にしながら、共通語である英語を使い交流を深め、「簡単な英語でもこんなに伝わるんだ!」という感覚をつかむことで、英語を学ぶ意欲につなげていきます。



海外語学研修 (希望者対象：中3～高2)

長期留学と同じ環境を体験する 語学研修スタディーツアー

〈ニュージーランド語学研修〉

午前は英語レッスン、午後は現地校での授業で、リアルな海外生活を体験。現地校の生徒が「スクールバディ」と呼ばれるペアとなり、授業をサポートしてくれます。

〈河口湖アチーブイングリッシュキャンプ〉

外国人講師による1日最大10時間の短期集中指導で、英語力の飛躍的な向上が期待できます。発音訓練やスピーキングを中心に、英語を用いた実践的なコミュニケーションスキルを養成します。



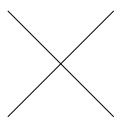
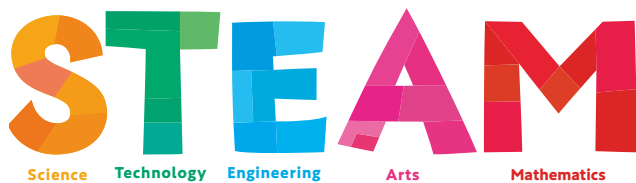
使える英語を目指す教育／受信と発信

発表を通じて英語による 表現力を高め

「話す」から「伝わる」英語へ

国際社会で通用する英語力は、知識・技能の習得に加え、豊かな表現力・発信力が必要です。農大三中・三高では「Zoom」によるマンツーマン英語学習「オンライン英会話」を導入し、英語の受信力・発信力を鍛えるほか、英語による発表の機会を多く用意。その代表となる文化祭「浪漫祭」では、英会話や英語劇、デザインプレゼンテーションなど各学年のレベルに応じた内容で、実践を通じて表現力に磨きをかけていきます。





キャリア教育

可能性を広げ、自ら考え、
選ぶ力を養う、
実践を重視したキャリア教育

興味を持った大学や職業など自分の将来について考え、その実現方法について、自ら調べ、さらに関心を高め、深く理解します。農大三中・三高では、生徒が主体的・能動的に進路選択ができるよう、キャリア教育にも実学教育を取り入れています。また、技術系企業講演会や進路講演・職業体験など、多彩なプログラムを通じて「働く自分」について考えていきます。



中学3年
中嶋 瑞華 さん

高校2年
粟本 真生 さん



農大三中・三高では、生徒自身の将来の夢や目標を明確にするために、キャリア教育に力を入れています。学年ごとに進路相談を行い、生徒が主体的かつ能動的にキャリアの選択ができるようにサポートしています。2人の生徒に、思い描いているビジョンを聞きました。

.....

授業や体験を通して
自分の将来とじっくり向き合う

二宮 宗一 教諭(以下、二宮) お2人には夢があるそうですね。その夢を持ったきっかけを教えてください。

中嶋 私は子どもの頃から絵を描くのが好きでした。イラストについて勉強しようと思って、動画を見ているうちに、将来はデザイン関係の仕事に就きたいと思うようになりました。

粟本 明確に定まっているわけではないのですが、自分の得意なことで人の役に立つことができたらと思っています。入学してから理数系の科目が得

意で、同時に自分の考えを人に伝えることや、何かを教えることも楽しいと思い始めました。教員という職業にも憧れを持っているのですが、今は視野を広げて検討しているところです。

二宮 農大三中の進路相談についてはいかがですか？

粟本 進路決定のきっかけになるようなカリキュラムが多くとてもありがたいです。

中嶋 私もそう思います。中学2年次の職業体験では、さまざまな職種を選んで体験学習を行いました。私は動物病院を選びましたが、採血など実際の業務を間近で見ることができて、仕事の大変さに触れると同時に、将来について意識をするようになりました。進路選択で迷う人も少なくないと思うのですが、「自分が本当にやりたいことは何なのか」ということを、カリキュラムを通して納得いくまで探せる環境だと思うので、とても恵まれていると感じています。

学生生活のすべてが
未来につながっている

粟本 新型コロナウイルスの影響で、私の代は職業体験ができませんでした。しかし、日々の授業や行事の中にも、自分の進路を考えるきっかけになるできごとが多かったです。

二宮 授業や行事を通じた気づきには、どんなものがありましたか？

粟本 小学生の頃は算数が苦手だったのですが、農大三中に入ってから、理数系の科目が好きになりました。それは授業がとても楽しいからだ

と思っています。たとえば二宮先生の数学の授業では、「マンホールの蓋がなぜ丸いのか？」など、身近な物を使って数学の世界に興味を持たせてくれるので、ただ公式を覚えて受験勉強をするだけではない、数学の面白さに気づくことができました。

二宮 そう言ってくると、私も授業を工夫したいがあったなと思いますね(笑)。

中嶋 私は大学進学を目指して勉強をしています。農大三中は行事も多く、ダイズの栽培やヒラメの養殖など他の学校では絶対にできない体験もたくさんあるので、多くの刺激を受けられるのが魅力だと思います。また、中高一貫校でなければ中学3年生は高校受験で忙しくなるタイミングですが、一貫校なので受験勉強に費やすはずの時間を、大学受験やその先の将来についてじっくり考える時間に充てることができます。落ち着いて学べる環境を生かし、将来の進路選択に生かしていけたらと思っています。

二宮 実際に働く自分を想像しながら、さまざまな体験を経て、自身のキャリアに向かい合うお2人の将来が楽しみです。中高一貫校の6年間という時間をフル活用して、理想の未来を実現していきましょう！





キャリアデザインプログラム

実学を取り入れたプログラムで
理想の実現に必要な力を習得

中学1年では、自分史の作成、エゴグラム診断などをベースに自分と向き合うことからスタートします。中学2年では、職業調べや職業体験により職業理解を深めます。中学3年では、自らのライフプランを意識しながら大学を調べ、模擬ゼミ体験などを通して学問研究を進め、高校1・2年の間に、高校3年での自己実現につながる適切な進路を選択していきます。理想の実現に必要な力を、6年間をかけてじっくり養います。

中1・中2

実学的考え方のベースを作る

- 自己理解 ●技術系企業講演会・進路講演 ●職業体験

中3・高1・高2

能動的にキャリアを選択する

- 学部・学科研究 ●技術系企業講演会・進路講演
- 模擬ゼミ体験 ●文理選択 ●オープンキャンパス ●大学研究

高3

大学進学を実現する

- 進路研究 ●進路講演 ●オープンキャンパス



プログラミング講座

最先端の
プログラミング技術が学べる
オンラインスクールを開講

世界的にIT人材の不足が叫ばれる中、プログラミングスキルを持った人材育成が急務になっています。しかし、日本では最先端技術を学べる環境が少ないのも事実です。そこで、プログラミング教育機関「MEP次世代教育」の協力のもと、希望者にはオンラインスクールを実施。IT先進国である台湾の経験豊富な講師陣が、基礎から応用まで指導しています。レベルに合わせた段階別学習で、プログラミングスキルと共に、論理的思考能力や課題解決能力も身につきます。

技術系企業講演会・進路講演

進路ステップに合わせたテーマで
6年間を通して
豊富な講演を実施

6年間を通して多くの講演が行われるのも、農大三中・三高のキャリア教育の特長です。中学1・2年では、人間について考えを深める内容、中学3年から高校2年では、大学生や社会で活躍する卒業生を講師に迎えての講演、高校3年ではさらに視野を広げる内容といったように、進路ステップに合わせ多彩な講演を実施します。高い志を持ち活躍する多くの方々の講演は、豊かな可能性に気づきを与え、進路選択の道標となります。

STEAM

Science Technology Engineering Arts Mathematics

人間教育



中学2年
水沼 心花さん

高校2年
今泉 那月さん

世界を視野に多様な社会を生き抜く、
豊かな感性と
逞しい人間力を

「なれる未来」ではなく「なりたい未来」をつかむには、その地図となる10年、20年先の明確なビジョンを描く「創造力」、それを実現する力強い「人間力」が必要です。農大三中・三高では、学校行事をはじめ、芸術鑑賞やクラブ活動による情操教育や実践ワークを通じて、国際人にふさわしい品格、他者を理解・尊重し協働できる力を養い、多様な社会を生き抜く人材を育成します。



志望大学への現役合格を目指して学力向上のカリキュラムを組む一方で、学校行事やクラブ活動といった情操教育も推進し、多様な社会を生き抜くための人間形成にも力を入れています。ここでは、クラブに入部している生徒に人間教育の観点から話を聞きました。

.....

大会も行事も全力で！
ドラマでいっぱい吹奏楽部

徳永 友里 教諭 (以下、徳永) 2人は中高それぞれの吹奏楽部に所属していますが、部活動の様子を聞かせてください。

今泉 とても楽しいです。パートや学年が違っても仲がよい、アットホームな部活動ですね。楽しい時間を過ごしながらメリハリをつけて大会を目指す、よい環境に恵まれています。

水沼 私も毎日楽しいです！ コンクール出場が主体となる高校吹奏楽部と比べて、中学は仲間とともに音楽を作りあげることを楽しめる環境だと

思います。先輩方もやさしく教えてくれますし、演奏曲もみんなで意見を出し合って決めているので、日々充実しています。

徳永 高校の吹奏楽部は西関東大会に出場しましたね。部活動を通してとくに思い出に残っていることはありますか？

今泉 実は、浪漫祭の2日目と西関東大会の日程が重なっていたんです。そのため、浪漫祭の1日目の午前中に、浪漫祭用の曲と、練習も兼ねて大会用の曲の2曲を演奏することにしました。

水沼 翌日に大会を控えている緊張感を感じさせないほど観客を盛り上げていて、後輩の私たちがらすとすごいなと思いながら見ていました。大変ではなかったですか？

今泉 結構大変でしたね(笑)。でも、校内で楽しく演奏する時間も大切にしたいと、浪漫祭で盛り上がったことで、翌日の大会へのやる気にもつながったと思います！

徳永 中学の吹奏楽部はどうでしたか？

水沼 私たちの浪漫祭での演奏日は2日目だったのですが、指揮をする予定だった先生が西関東大会に出場するため、不在になってしまったんです。生演奏は諦めるしかないかと思っていたのですが、高校吹奏楽部の先輩が指揮を担当してくれることになり、生演奏が実現できました！ みんなで協力しあって実現した演奏は、とても思い出に残っています。

人との出会いが成長に繋がる

徳永 部活動を通して成長したと思うことはありますか？

今泉 私は人と話すことが苦手でしたが、部活動の練習を通して協力することの大切さを学びました。また大会出場に向けて練習を重ねていくなかで、できなかったことをできるようにするために行動を起こす主体性も身についたと感じます。

水沼 私は小さいころからドラムをしていたのですが、当時は面倒くさがり屋で、難しい曲を見ると諦めていました。部活動を通してチャレンジ精神が磨かれて、できるまで挑戦し続けられるようになりました。

徳永 部活動も勉強も全力で取り組む姿勢は、教師から見るととても頼もしく思います。2人にとって、この学校はどういう存在ですか？

今泉 農三はとてもあたたかい学校です。部員や友達はもちろん、先生もとてもやさしく親身に接してくれます。コロナの影響で通学できないときは、人との関わりの面で心配でしたが、自分を成長させてくれる出会いがたくさんありました。

水沼 もともとは醸造体験に惹かれて入学しましたが、そういった経験以上に人との出会いに意味を感じる学校です。昨年度の担任の先生が退任されたときはとても寂しかったのですが、春休みにクラスで企画をしてお別れ会を行いました。やりたいことに力を貸してくれる人が多いからこそ、チャレンジ精神が身につく場所です。





グループコミュニケーション

他者への配慮や
思いやりを育成する
グループコミュニケーション型の
ホームルーム活動

ホームルーム活動では「グループコミュニケーション」という人間関係づくりのトレーニングを行います。これは、あるテーマについて「自分で考える→グループで話す→プレゼンテーションをする」という流れをワークで実践するというものです。協同作業の喜びや連帯感を体感することで、他者への配慮や思いやりを育成します。また、1つの物事を多角的に捉えて考える訓練にもなり、柔軟な思考も身につきます。



情操教育／クラブ活動

十代のみずみずしい感性と
創造力を磨き
仲間と切磋琢磨しながら
自己を研鑽する

農大三中・三高では、狂言や講談といった古典芸能、演劇、ミュージカルなど、一流の芸術に触れる芸術鑑賞やクラブ活動による情操教育にも力を入れています。質の高い本物の芸術で十代のみずみずしい感性と創造力を磨き、仲間と協力し切磋琢磨し合うクラブ活動に打ち込むことで自己を研鑽する。五感のすべてで感じるさまざまな体験を通じて、国際人にふさわしい品格と豊かな人間性の土台を築きます。



学校行事

実学教育で培った自ら学び考える力で
全生徒が一致団結して
目標に取り組む

学校生活を華やかに彩る学校行事の数々。農大三中・三高ではそのすべてを学習の舞台とし、生徒が主体となり自ら作り上げていくプロセスから多くのことを学びます。生徒全員が一致団結してアイデアを出し合う、文化祭「浪漫祭」での展示やプレゼンテーション、体育祭での上級生から下級生へのパフォーマンス指導など、中学1年から高校3年までの全生徒が深く交流しながら、人として大きく成長していきます。



食育

生きる基本である「食」から学ぶ
命を育てる真摯な姿勢と感謝の心

生きる基本である「食」からの学びを大切にする農大三中・三高では、中学3年間、管理栄養士による栄養バランスのとれたスクールランチが、各クラスの教室で提供されます。また、中1の屋上菜園におけるダイズ栽培、中2のヒラメの養殖など、自らの手で育てた農水産物を食し、味わいます。こうした貴重な体験を通して、命の大切さや食べ物へのありがたさを学び、人間教育の礎となる感謝の心を培います。



クラブ紹介 | Club Activities



向上心を持ち仲間とともに挑む、
活気あふれる姿がここにあります。

農大三中のクラブ活動は、あくまでも生徒が主体。自分たちで考え、行動し、友人と協力して互いを高め合う。そのプロセスもまた、実学そのものです。前に進むために、さらなる高みを目指すために、知恵と技を結集した結果、たくさんの喜びを共有しています。



科学部



サッカー部



バスケットボール部



オリエンテーリング部



陸上競技部



野球部



吹奏楽部



文芸百人一首部



硬式テニス部

※小学校での経験者



バドミントン部

※小学校での経験者



美術部



茶道部

クラブから一言！ Comment

野球部

野球は日常の取り組みがダイレクトに結果に表れます。この点を常に意識し、日々の学校生活を大切に過ごしています。また、仲間を思いやる気持ちを大切に、“試合で勝つ”という目標に向かい、全力で練習に励んでいます。

吹奏楽部

楽器未経験者が多い中、入学式・卒業式などの式典や体育祭・文化祭、そして高校生と合同で開催する定期演奏会に出演するために、日々練習に励んでいます。吹奏楽部でしか味わえない楽しみがたくさん待っています。

施設紹介 | Facility

自然を全身で感じられる広大なキャンパスで、
のびのびと成長できる6年間。

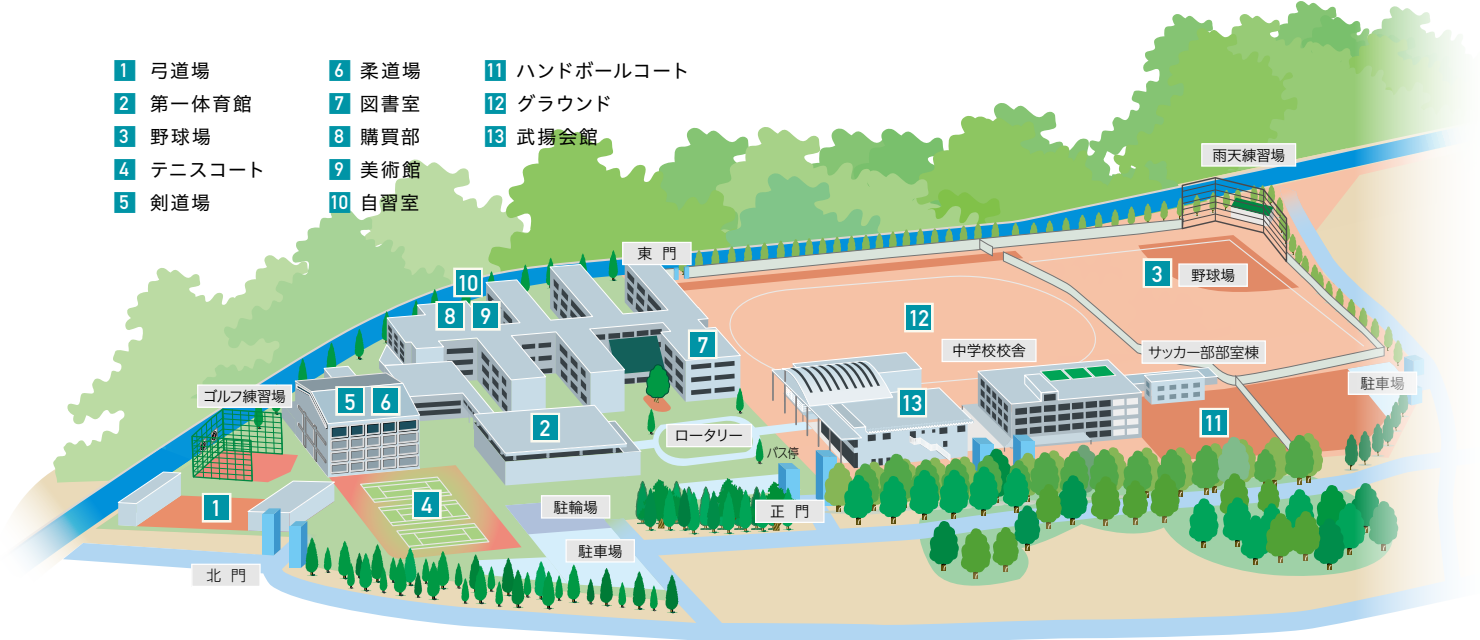


ホームページにて各施設の
360°パノラマビューを公開中!

埼玉県東松山市に位置する農大三中・三高。

四方を美しい緑に囲まれた静かな環境は、学習に最適な心落ち着ける空間です。実学教育をサポートする充実の施設・設備には、他校にはない専門的な機材もたくさん。次々に生まれる「なぜ?」「知りたい!」を待っています。

- | | | |
|----------|--------|--------------|
| 1 弓道場 | 6 柔道場 | 11 ハンドボールコート |
| 2 第一体育館 | 7 図書室 | 12 グラウンド |
| 3 野球場 | 8 購買部 | 13 武揚会館 |
| 4 テニスコート | 9 美術館 | |
| 5 剣道場 | 10 自習室 | |



制服紹介 | Uniform

さわやかな水色が印象的な制服ラインナップに
女子のスラックスとネクタイが追加!

組み合わせ
50通り以上!



※ 令和7年度より布ベストに替わり、
ニットベストを導入予定です。

人を幸せにするために学ぶ！

豊かな自然環境の中で、生徒たちは、元気に明るくのびのびと学園生活を満喫しています。「地域社会に貢献し、国際社会で活躍する『21世紀を担う国際人』の育成を目指す」—この教育方針実践に向けて、農大三中は教育改革に取り組んでいます。「グローバル教育」「実学教育」「学内完結型教育」が改革の3本柱です。

外国人留学生との交流会・語学研修など英語力を高め、異文化理解を深める豊富なメニュー。ダイズ栽培から味噌作り体験、魚（ヒラメ）の養殖研究、北海道修学旅行での新巻き鮭づくり体験など、「本物を見て触れて考える」というさまざまな体験型学習の機会。論理的思考力を高めていく場として、「論理の授業」も実施。大学現役合格にむけ、自立学習支援システム（EdOM）を導入するなど実践内容は多岐にわたります。

それぞれの教育活動の中で、生徒たちは、分析や仲間との話し合い、スライド資料の作成、浪漫祭での発表等、自らの取り組みをデザインしていきます。結果として、授業では経験できない、文系・理系などの枠組みを超えた、文理融合の教育（STEAM教育）を展開していきます。その目指すところは、自分のために学ぶことが、実は他者のために学ぶことにつながり、人を幸せにするという、社会貢献につながる学びの基盤づくりです。

広大なキャンパスでの生活、グローバルな視点での体験、一人一人の生徒に向き合い、寄り添う教師陣に囲まれながら6年間を積み重ねていきます。「なるほど!」と心を動かす授業を通して、「まず、やってみよう!」という主体的な学びの姿勢を構築し、「地域社会に貢献し、国際社会で活躍する『21世紀を担う国際人』」に皆さんを育てます。



東京農業大学
第三高等学校附属中学校
校長
神山 達人



受験生・保護者対象説明会の詳細はこちらからアクセス！

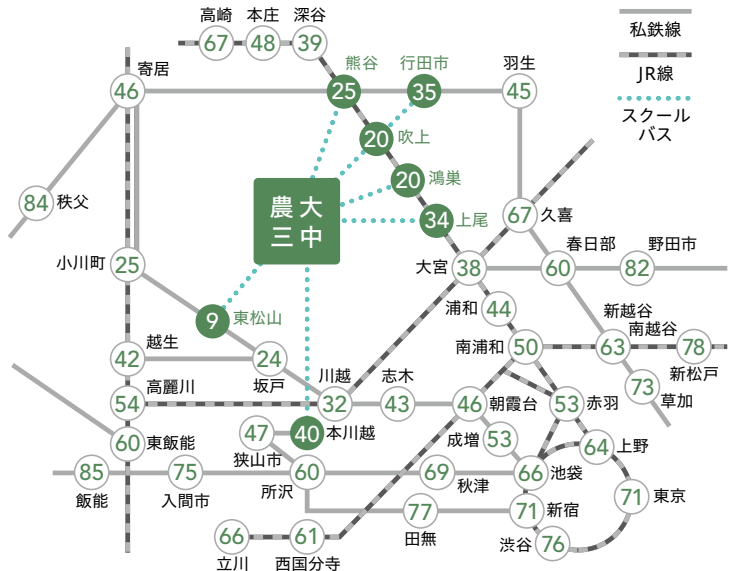
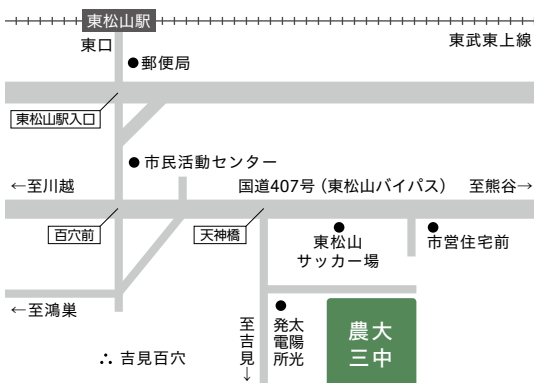
※ご来校時は、上履き・スリッパ等をご持参ください。

※本校開催のみ当日はスクールバスが運行されます。車でのご来校はご遠慮ください。バスダイヤは日程が近づきましたらホームページ等でご確認ください。

通学範囲・交通アクセス

先輩たちの通学範囲と在籍者数

川越市	19	朝霞市	3	久喜市	2
さいたま市	16	行田市	3	伊奈町	1
東松山市	14	滑川町	3	狭山市	1
鴻巣市	13	鶴ヶ島市	3	加須市	1
熊谷市	9	本庄市	3	三芳町	1
桶川市	7	小川町	3	吉見町	1
上尾市	6	和光市	2	東京都	26
富士見市	5	川口市	2	千葉県	2
深谷市	5	北本市	2	神奈川県	1
ふじみ野市	5	新座市	2		
志木市	5	所沢市	2		
坂戸市	4	日高市	2		
				合計	174人



スクールバス発着駅

- 本川越駅 ● 東松山駅 ● 上尾駅 ● 鴻巣駅
- 吹上駅 ● 熊谷駅 ● 行田市駅

※1. 数字は、駅から学校までの所要時間を表示しており、乗り換え、待ち合わせ時間は含まれておりません。

※2. 上尾駅34分は、鴻巣駅経由の所要時間であり、上尾駅直通のスクールバスを利用した場合、学校までの所要時間は約50分となります。なお、上尾路線は令和7年度以降、見直しを検討しています。



東京農業大学第三高等学校附属中学校

〒355-0005 埼玉県東松山市大字松山1400-1
TEL : 0493-24-4611 <https://www.nodai-3-h.ed.jp>



学校HP